

WordPress で覚える PHP

自己紹介

田中広将（ひろまさ）

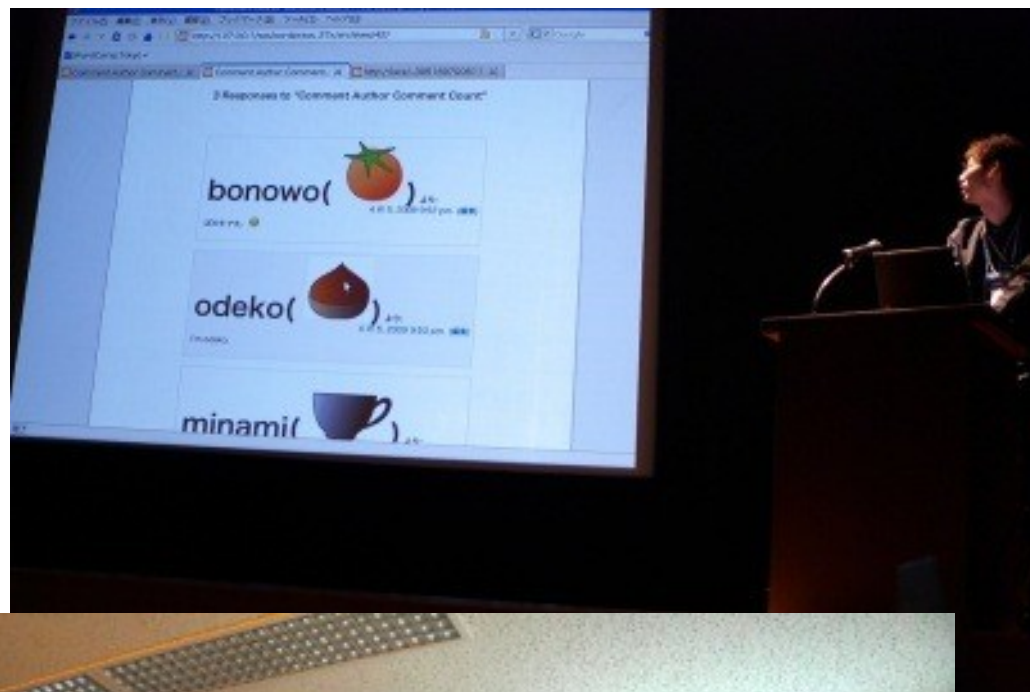
札幌在住。

2005年より **WordPress** でブログを始める。

WordPress のプラグインなどを趣味で作成。

Web のほうは個人でサイトをやっているだけでしたが、
ハムさんに **SaCSS** に呼んでいただき、
現在に至ります。

年に何回か
どこかしらで
WordPress のことを
お話させて
もらっております。



先月の
PHP カンファレンス
北海道では

妙な格好で
WordPress を
解説して会場に
苦笑されるという、

偉業を
達成しました。



寒い…。

普段はソフトウェア開発会社の
プログラマーです。

主に業務系のアプリケーション開発をしています。

実は Web 制作もインターネットも
あまり詳しくありません。

しかし！

SaCSS に伺うようになってから、
Web 制作のみなさんに仲良くしていただき、
制作時のワークフローを
教えてもらうことが出来ました。

そして今日のセッションのタイトルがちょっと違う
ということに気が付きました。

「WordPress で覚える PHP」

ではなく、

「WordPress のための PHP」

本日は、Web 制作・設計の観点から
知っておくと有利な
WordPress の動作と PHP の知識を
お話ししたいと思います。

本日本話すること

- サイト設計

- 投稿タイプとページ種類
- 記事のデータ構造

- サイト制作

- WordPress の動作シーケンスとテーマの関係
- ループの働き
- テンプレートタグと関数と echo
- 条件分岐タグ

投稿タイプとページ種類*

• 投稿タイプ

- 管理画面から入力しコンテンツにする記事の単位を投稿タイプといいます。
- 投稿、固定ページ、カスタム投稿、メディアライブラリ、、、みんな投稿タイプ的一种です。
- 投稿タイプはそれぞれ複数の記事を持ち、投稿日、作成者、タイトルや記事の内容、抜粋、アイキャッチ画像などの入力項目を持ちます。

投稿タイプとページ種類*

- ページ種類

- 主に投稿タイプをどのような条件でサイト上に出力したかを表す言葉がページ種類です。

- 投稿を最新から表示 (ブログメインページ)
 - 投稿を月別表示 (月別アーカイブ)
 - 投稿を 1 件だけ表示 (シングルページ)
 - 固定ページを 1 件だけ表示 (固定ページ)
 - 投稿タイプを分類によって抽出 (タグ・カテゴリ・タクソノミーページ)

投稿タイプとページ種類

- 投稿タイプとページ種類でコンテンツを形成
 - WordPress でサイトを設計する時はどのコンテンツをどの投稿タイプに割り当てるかを考えます。
 - コンテンツの表示条件は WordPress が持つページ種類を考慮します。大きく次の4つに考えられます。
 - 順番で抽出（メイン・アーカイブページ）
 - 分類で抽出（カテゴリ・タグ・タクソノミーページ）
 - 作成者で抽出（作成者ページ）
 - 付随して次へ前へページング
 - 1件表示（シングルページ）

投稿タイプとページ種類 *

- 投稿タイプに対するページ種類の表示方法
 - 表示したいページ種類に遷移させるのはリンクタグ（URL）を出力するテンプレートタグです。
 - wp_list_categories（分類）
 - wp_get_archives（アーカイブ）
 - the author posts link（作成者）
 - wp_list_pages（固定ページ）
 - next_posts_link、previous post link（ページング）
 - the_permalink（シングルページ）
 - etc..

記事のデータ構造*

- 投稿タイプがもつ記事の内容がコンテンツになる
 - 日付
 - 作成者
 - タイトル
 - 内容
 - 抜粋
 - その他
 - カスタムフィールド
 - メディアファイル
 - アイキャッチ画像

記事のデータ構造*

- 投稿タイプ以外でコンテンツを表示する手法
 - サイトの設定項目
 - ウィジェット
 - テンプレートファイルにそのままかく

WordPress サイト設計（ここまでまとめ）

- コンテンツの種類と投稿タイプを結びつける。
 - サイト内のブログ → 投稿
 - 新着情報 → 投稿（カスタム投稿）
 - 階層構造 → 固定ページ
 - 商品情報等 → カスタム投稿
 - もうひとつ別なブログ → カスタム投稿
 - 等々 ..
- 投稿タイプの記事の項目とコンテンツを対応させる。

WordPress サイト設計（ここまでまとめ）

- 投稿タイプに対して抽出条件がある場合は

ページ種類を考えます。

- 日付・順番 → アーカイブページ
- 分類 → タグ・カテゴリ・タクソノミーページ
- 作成者別 → 作成者ページ
- 等々 ..

ページ種類はひとつの投稿タイプを選択して
条件抽出します。

これらを組み合わせてコンテンツを形成していきます

WordPress の動作シーケンスとテーマの関係

- WordPress のテーマは **PHP** を使って表示したいデータを **埋め込む**形で作成していきます。
- 実際にテーマ作成を行う場合、
WordPress の **動作シーケンス**を知っていると
PHP の記述が非常に **理解しやす**くなります。
- WordPress で使われる **ループ**や **テンプレートタグ**
条件分岐タグなどで PHP がどのように活用されているか
みていきましょう。

WordPress の動作シーケンスとテーマの関係

URL 解析 (ページ種類確定)

投稿タイプからページ種類に
従って条件付きでデータ取得

テンプレート階層により
テンプレートファイル決定

WordPress 本体

テーマ

ループで記事を出力

ループの働き *

- WordPress にとってもらった記事をループで出力する。
- アクセスされた URL を元に
投稿タイプとページ種類から表示する記事が決定。
- 表示する記事は複数の場合がある。
なので”ループ”（ぐるぐる）です。

ループの働き

- PHP は上の行から順番に実行されます。
- 同じ事を繰り返す場合につかうのがループです。
 - while 、 foreach 、 for..
- こういった上から動く順番を変更する記述を PHP の制御構文と呼びます。
 - if
- WordPress ループの定形コードの if をみてみます。

条件分岐タグ

- テンプレートファイル内でページ種類を判定しデザインや文言の差異をうめる条件分岐タグも `if` (もしも) と組み合わせて使います。

テンプレートタグと関数と echo

- **テンプレートタグ**は、WordPress が取得した情報を出力する PHP の**関数**です。
 - テンプレートタグを呼び出すと処理がそのブロックにすっ飛んで内容が**差し込まれます**。
- **<?php ?>** 外の記述はブラウザにそのまま**出力**されます。
- **<?php ?>** 内の処理の流れで”**echo**”されたものはブラウザに出力されます。

WordPress のための PHP (まとめ)

- WordPress は PHP の動きをうまく使い
テーマ・テンプレートファイルのカスタマイズ機能を提供しています。
- 制御構文と関数を使ってコンテンツを出力します。
 - 投稿タイプの記事表示 `while` (ぐるぐる)
 - 条件分岐タで差異を吸収 `if` (もしも)
 - テンプレートタグ `関数` (差し込み)
- テンプレートファイルも PHP のプログラム。上から順に実行されることを意識すると分かりやすいです。

WordPress のための PHP (まとめ)

- コンテンツは投稿タイプとページ種類の組み合わせで表現。

WordPress が URL を元に
記事をとってきてテーマに渡します。

この PHP プログラムの大きな流れをイメージします

- テンプレートファイルは PHP 。

記事はループ、条件分岐は if、テンプレートタグは関数

この使い方こそ PHP がその形になっている理由です。

本になります。

書名： WordPress デザインワークブック（予定）

ソーテック社

著者： 高橋朋代・田中広将

ごめんなさい、、今日に間に合いませんでした。。

来月中旬～下旬にはでている予定です。

もういっかい！

来週土曜日（6/16） 15時15分より
オープンソースカンファレンス北海道

「WordPress よるサイト設計入門」

講師：高橋 朋代

展示ブースもあります。

（WordPress 缶バッチ入荷しました）

ご清聴ありがとうございました。